

地域の伝統が未来を輝かせる ～上野原市 月見が池～



山梨県で唯一の「ため池百選」
月見が池は農林水産省が選定する「ため池百選」に選ばれています。全国の21万か所のため池から、農業用水源の役割や自然環境、地域との関わりなどを基準に審査が行われ、月見が池は夏祭りや、学校の自然学習等の活動を通して、地域と深く関わっていることが評価されています。

上野原市の中心に位置する月見が池は、河川からの取水が困難な河岸段丘上の農地を潤すため、昭和6年に造成された農業用ため池です。ため池の周囲には遊歩道が整備され、地域の方が気軽に使えるようになっているほか、桜やアジサイ、ツツジ等が植えられており、四季折々に人々を楽しませ、その美しい景色は上野原市のホームページでも紹介されています。



「ため池百選の”ワケ”」
月見が池はカモやコイ、フナ等の多くの生き物たちの生息地としての役割も果たしています。月見が池では、隣接する上野原小学校の児童による環境学習も行われています。その他にも、維持管理を行っている上野原土地改良区が小・中学校でため池の歴史等を学ぶ学習会を開いており、その功績が評価され、全国の模範となる土地改良区として、「二十一世紀土地改良区創造運動大賞」を受賞しています。
また、月見が池には「弁財天祭り」という、ため池完成時に町の安泰を祈願した弁財天の社（江の島神社）を祀る祭りがあります。毎年7月に開催され、特にため池で行われる灯籠流しは全国的にも珍しく、上野原市の代表的なイベントになっています。

ため池で野点をするのは県内でも珍しいのでは？



夏の風物詩 月見が池弁財天祭り

毎年7月下旬には弁財天を祀った月見が池弁財天祭りが行われています。花火や灯籠流しが祭りを彩り、池に反射した灯籠の光、夜空の花火がとても美しく、参加者を楽しませています。



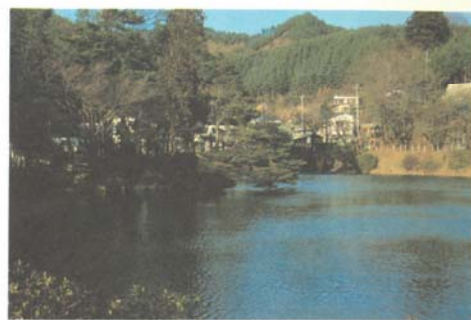
ため池のそばには多くの屋台がでており、灯籠も販売されているので、購入すれば誰でも灯籠流しを体験することができます。



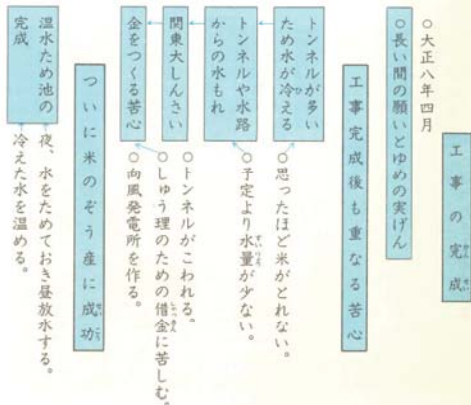
土地改良区主催の 勉強会

土地改良区が地元の小学校と中学校と連携して学習会を行っています。ため池の取水源である上野原用水の成り立ちや、ため池の役割について現地で学びます。

上野原市の社会科副読本には月見が池の記載があり、地域にとってどれだけ重要なものかが伺えます。



月見が池



● 上野原用水について説明を聞く小学生